

授業科目	*初年次セミナー I				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	WE10201J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	木村 茂喜、杉谷 修一、新谷 恭明、杉本 有紗、金谷 めぐみ、水貝 洵子							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーIおよびIIで構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。初年次セミナーIでは、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p> <p>※第3回～第14回は学生を5つのグループ(後期の初年次セミナーIIと共通)に分け、1グループあたり3名の教員が交代で担当する。また、第3回～第6回、第7回～第10回、第11回～第14回の授業計画はあくまで例であり、テーマ・講義内容、授業の運営方法、学習課題は各担当教員によって異なる。</p> <p>※今年度は、原則として対面授業で行うが、新型コロナウイルス感染症の影響により、途中で遠隔授業に切り替わることがある。遠隔授業の開始日や進め方については、大学・担当教員から連絡するので、各自確認しておくこと。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べるができる。(DP3-1) 4. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。(DP4-1) 5. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	25	15	100	
知識・理解 (DP1-1)			30	10	10		50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				10	10	10	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				10	5	5	20	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、自らが積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。		大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、他者と共同学ぶ姿勢がみられる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 大学での学びとは(新谷恭明) ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは	合同講義	特になし	0
2	テーマ: ガイダンス(福祉学科担当全教員・図書館職員) 初年次セミナーの進め方、図書館の紹介と文献・資料の扱い方について解説し、夏休み課題レポートについて説明する。	学科合同講義	特になし	0
3	テーマ: 大学での学び方(1)資料・文献を読む(担当教員 1) 情報倫理・情報リテラシー、文献リストの作成方法について学ぶ。	演習	内容の振り返り	15
4	テーマ: 大学での学び方(2)資料・文献を要約する(担当教員 1) 資料・文献の要約の仕方について学ぶ。	演習	文章を要約する。	60
5	テーマ: 大学での学び方(3)レポートと作文との違い(担当教員 1) レポートと作文との違い、文章の書き方の基本的ルールについて学ぶ。	演習	内容の振り返り	15
6	テーマ: 大学での学び方(4)レポートを書く(担当教員 1) レポートの基本的な構成(序論・本論・結論)について学ぶ。	演習	レポート作成	120
7	テーマ: 社会生活と法(1)法の存在意義について(担当教員 2) 社会における法の役割について考える。	演習	具体的な法制度について調べる。	60
8	テーマ: 社会生活と法(2)法に関する文書を読む(担当教員 2) 最近問題になっている、法に関する文章を読み、その要点を要約する。	演習	文章の要約	120
9	テーマ: 社会生活と法(3)思考マップ・アウトライン作成(担当教員 2) 前回要約したものについて、わからない語句や疑問に思った点について調べ、疑問を感じた点についての思考マップ・アウトラインを作成する。	演習	思考マップ・アウトライン作成	60
10	テーマ: 社会生活と法(4)法に関する文章を書く(担当教員 2) 思考マップ・アウトラインをもとに、レポートの構成を考える。	演習	レポート作成	60
11	テーマ: ブックレポートを書く(1)対象への関心を高める(担当教員 3) ・対象のイメージアップを図る。 ・テキスト批評を学ぶ。	演習	感想文の作成(手書き)	60
12	テーマ: ブックレポートを書く(2)文献を利用する(担当教員 3) 指定する学問領域の専門書を分析し、紹介する。	演習	「議論」の作成(手書き)	120

13	テーマ:ブックレポートを書く(3)意見と根拠を述べる (担当教員 3) レポートの各部分を振り返り、レポートを全体としてまとめる。	演習	「目的の提示」「まとめ」を入れ、テキスト批評レポートを作成(PC)	120
14	テーマ:ブックレポートを書く(4)まとめる・評価する(担当教員 3) ・自分のレポートを読む。 ・自分のレポートにコメントする。 ・振り返り	演習	特になし	0
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし。			
テキスト	特に定めない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	テーマに即した文献・資料について、担当各教員より紹介する。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で関心のあったテーマについては、積極的に図書館やインターネットを利用するなどして知識を深める。各自の積極的な参加を期待している。 初年次セミナーIでの学習内容の到達度を確認するため、夏季休業期間中に各自レポートを執筆し、提出すること。レポートのテーマ、書式、提出期限など、詳細については、第2回で説明する。なお、このレポートは初年次セミナーIIの成績評価に加える。
達成度評価に関するコメント	達成度評価の指標と評価割合については、担当教員によって多少異なることがある。もし、疑義があるときは、各担当教員に問い合わせること。